

会議等名	令和元年第4回海老名市外部評価委員会
日時	令和元年7月23日(火) 10:00～12:00
場所	海老名市役所 3階 政策審議室
出席者	外部評価委員：田中委員長、城向副委員長、大島副委員長、長谷川委員、高橋委員、菅生委員、山田委員、霜田委員、杉山委員、谷村委員、西海委員（以上11名出席） 欠席：武井委員 事務局：川崎政策経営係長、森谷副主幹、笠本
<p>1. 開会（川崎係長）</p> <p>2. あいさつ 田中委員長</p> <p>3. 議題（進行 田中委員長）</p> <p>(1) 令和元年度外部評価結果報告書（案）の確定作業について（事務局より説明）</p> <p>○報告書の概要について</p> <p>構成、概要について説明（事務局）</p> <p>意見交換</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ヒアリング等を行わないという大きな変化があった。（外部評価委員） ・ 新規事業だけでもヒアリングを行う方がよかった（外部評価委員） ・ 事業目的が変わってきている事業も多くあった。過年度評価との比較はできないと考える。（外部評価委員） ・ ヒアリングを行わないことによって評価が違っていたのではないかと。（外部評価委員） ・ 総括意見については、個別意見の内容をもっとまとめた方がいい（外部評価委員） ・ 個別意見については、【要旨】の精度をあげ、内容については、文章構成上の整合性等にとらわれず、委員の意見をそのまま記入する方がよいのではないかと。（外部評価委員） <p>⇒個別評価については、【要旨】をよりわかりやすいものに修正し、各委員の意見については、できる限り原文のまま掲載することを検討する。（事務局）</p> <p>○各グループ評価の概要について</p> <p><Aグループ></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 部門の取り組みが二分されていることが印象的だった。先進的な取組と以前の評価時の取り組みとの大きく変更しない事業と二分されている気がした。 ・ チェック機関ではあるが、以前の評価時にはいくつか提案をさせていただいたが、提案に対する対応は見えてこなかった。 ・ 根本の部分の記載が足りないように感じた。 <p><Bグループ></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 事業の問題点を正確に把握している事業は、具体的に成果を出している。 	

- ・ やろうとしていること、やったことを調書に詳細に記入している事業については、成果がしっかりと見えた。そうでない事業については、調書から『推測』しなければならない部分が多かった。
- ・ “推測”が多くなってしまうと評価が難しい。
- ・ 方向は示されているが、具体的な対応等が示されていない事業も散見された印象である。
- ・ 毎年伝えているが、外部評価での意見を次年度にしっかりと活かしていただきたい。

<Cグループ>

- ・ 当初ヒアリングを行いたい事業もあったが、ヒアリングを行わないことで率直な評価をすることができた。ヒアリングをして、疑問点を解消する評価も一つの方法であるが、調書のみから判断した結果『事業廃止』という判断がされた事業もある。
- ・ 過年度評価との比較については、事業の経過を推測しなければならない事業も多かった。当初の目的を逸脱している事業も見られた。
- ・ これまでと違った評価の仕方となったことにより、調書の重要性、大切さを感じる事が出来た。
- ◎ 以前『地域活性化モデル事業』の評価を行ったことがあり、費用対効果が高い印象だったが『事業廃止』と判断した理由を聞きたい。(外部評価委員)
- 事業としては成功しており、評価できる事業である。しかし、モデル事業であり続ける必要はないと判断した。“モデル事業”とする以上、釣り堀事業以外にも新たなモデルを見つけなければならないと考えている。次のモデルを見出すことが必要であるように感じ、『事業廃止』と判断した。(外部評価委員)

(2) その他

○市長報告会の進行について

開催日時：令和元年8月13日（火）10時開始 9時40分集合

集合場所：政策審議室

- ・ 各グループリーダーから概要を報告
- ・ 意見交換

○今後のスケジュールについて

資料に基づき、事務局より説明。

以 上